

「こうなる、こうする表」について

- 地震災害の恐ろしさは、突然襲う、同時に広い地域で、いろんな災害が起き、場合によっては、それまでの平和な生活が長期間にわたって破壊されることです。
 - 平成 7 年 1 月 17 日に発生した兵庫県南部地震で亡くなった 6,432 人の方の死亡原因は、85%（資料によっては 90%以上）が、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息死・圧死」でした。まだ生きているうちに、身動きがとれずに火事で焼かれた方や、衰弱死した方もいます。たいへん悲惨で、実にむごたらしい死に方です。
- ◎ 地震対策で一番重要なことは、自宅の耐震性を高めること、家具や器物の転倒、落下を防止すること、ブロック塀や屋根瓦、看板を補強して、道路に落ちないようにすることです。しかし・・・・・・あなたはちゃんとやっていますか？
- ◎ これらの地震対策にはお金がかかります。国や自治体の制度にも問題があるかもしれません。でも、確実に襲来する大地震を前にして、あなた自身も家族も守れる自信はありますか。
- ★ まず、地震災害の怖さを、自分のこととして身にしみること、すなわち、何が起きるかをイメージできること、これが対策を採ろうとする気持ちの第一歩になると考えます。
 - ★ 地震が来たとき自分や家族がどうなるか、は、そのときにいる場所やしていることで違います。まず、それを考えて見ましょう。そして、どんな対策をしたら、安心な方向にどう変わるか、ご家族やグループ、地区で話し合い、災害を防ぐ対策をはじめましょう。
 - ★ うしろに添付した「こうなる、こうする表」は、東京大学清算技術研究所・都市基盤安全工学研究センター 目黒公郎教授が提唱している方法に習ってこのシンポジウム用に作った、一例です。

<こうなる、こうする表の目的>

- ・ 第一に、地震発生から（宮城県沖地震では、15 秒から 20 秒前に大地震が来ることを知らせる装置が研究・開発中です）時間を追いながら、自分が、家族が、地域がどうなるか、を想像し、被害を予防できる対策をしたい気持ちになること。
- ・ 第二に、イメージする力を養い、とっさの行動や対応の訓練に役立てること。

<使い方>

- ① ご家族の一人一人で作ります。最初は、「**こうなる表**」です。
- ② 縦軸は時間割です。ご自分の一日の生活行動と場所を書き出して見ましょう。最初は、いちばん普通の日、普通のサラリーマン・学生であれば、平日でしょうか。例えば、6 時まで「寝室、フトンの中」、6 時～7 時は「台所、朝食準備」などです。
- ③ 横軸は地震発生を「0（ゼロ）」とした時間の経過です。マイナスは地震発生前を表します。縦軸に書いた場所に居るとき、行動をしているとき、何が起きるかを、その場所の様子や自分の姿勢などを思い浮かべて想像し、書き込みます。
- ④ 空白があっても、とりあえず、ざっと書き出して見て、ご家族で見せ合い、話し合ってみましょう。

この表は、一例です

「こうなる、こうする表」の例

＊ ＊ こうなる表 ＊ ＊

平成16年11月12日（金）

名前（おとうさん）

時	一日の行動パターン	秒					分					時間				日					月					年						
		-20	-10	-5	-2	0	1	5	10	30	1	3	5	15	30	1	3	6	12	1	2	3	5	10	20	1	2	3	6	1	2	3
0	寝室、フツンの中、寝ている	寝が浅いと、かすかな揺れに気がつかないまま寝ている。																														
3		揺り動かされて目覚める。揺れで起き上がれない。壁際のタンスが体の上に倒れてくる。テレビが飛んでくる。家は耐震性があるので全壊していない																														
6		タンスに挟まれて、動けない。テレビは遠かったので当たらない。家人は声を掛けて、助けを呼ぶ。																														
9	台所、料理																															
12	通勤電車地下鉄																															
15	会社事務室、机についている																															
18	外の食堂、昼食																															
21	市街地、外交、車運転、相手の応接室																															
24	会社事務室、机についている																															
	通勤電車、地下鉄																															
	自宅食卓、夕食																															
	居間、ごろ寝でテレビ																															
	寝室、フツンの中、寝ている																															
	備考 (津波の到達時間および規模は、宮城県第三次被害想定調査結果を参考にしました)	<div data-bbox="683 662 1444 1045" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ひとつの行動パターンごとに、その場所でその状態で地震が起きるとして、自分に何が起こるかを書き出します。 ひとつの行動パターンで何枚使っても良いので、思いつくものを全て挙げましょう。</p> </div> <div data-bbox="280 1236 504 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>運がいい人は、緊急地震速報を聞ける（長町小学校で実証実験中）</p> </div> <div data-bbox="526 1236 772 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>激しい揺れ (1分から2分)</p> </div> <div data-bbox="795 1236 1041 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★社鹿町・女川町に津波第一波 ★耐震性の低い家屋・ビルの倒壊（ほとんどの死者の死亡原因です）</p> </div> <div data-bbox="1064 1236 1355 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★三陸側に最高水位5m以上の津波が襲来</p> </div> <div data-bbox="1377 1236 2049 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ゴールデン72アワースの経過 (壊れた家や瓦礫の下に埋もれた人が生きた状態で助け出される割合は、日の経過とともに急激に下がり、3日経つとほとんど絶望です)</p> </div>																														
地震災害対策の進展		予防対策（減災の活動）					地震の発生					緊急対応				応急復旧					復旧					復興						